

景観

景観行政団体の取り組み

町長／景観計画策定の準備



川口憲男議員

川口 これまでの取り組み状況、今後の計画について。また、町民一体の取り組みとしてどのようなことが考えられるか。

町長 広報紙による町民への周知や、研修会等による景観計画策定に向け、庁内体制、関係機関との組織づくりの準備を進めています。

景観づくりには町民の意見を広く聞きながら、理解と協力により「美しいさつま町」を創ってまいります。



水害により川岸が崩れたホタル舟出発点付近

ホタル生息地の保全を

町長／保全に取り組む

川口 ホタルの生息地域の環境保全が必要と考えるが、その取り組みは。

町長 豪雨災害により、ホタルの生息への影響を心配しています。河川の護岸復旧工事等

では、ホタルにやさしく、景観に配慮した工法の要望を行っています。景観行政団体として、町全体でホタルを保全していく取り組みを進めます。

定住

定住促進と雇用対策

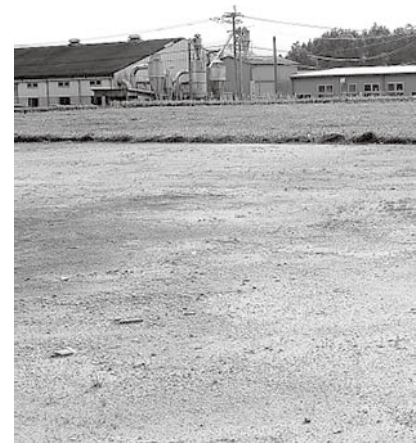
町長／雇用の機会と拡大を図る



東 哲雄議員

東 重点プロジェクトとして位置づけた定住促進の効果と課題は。また、今後の雇用拡大に向けた取り組みについて伺う。

町長 日特宮之城工場の増設に伴い、日特製作所の誘致がなされました。



誘致企業の工場建設予定地
(倉内工業団地)

当面の課題としては、企業進出、増設するためには、農振、中山間地域総合整備計画等の調整も必要となります。

今後も企業誘致を進め、雇用の機会と拡大に取り組みます。

新ごぼう等の産地づくりを

町長／22年度目標25ヘクタール

東 新ごぼうの面積拡大への具体的な取り組みは。また、たばこ耕作者と面積が減少している。安定生産に向けた考えを伺う。

町長 ごぼうの発芽不良の解決を協議中です。面積拡大は産地づくり交付金を活用し、22年度25畧の目標を目指し、水田への定着を推進します。

たばこ作は、良質葉生産が重要です。関係機関、団体と連携し、取り組みます。

※ピクリン被覆の補助等は、今後の検討課題と考えます。

※ピクリン被覆

ピクリンとは、農作物を病気から守るために使用される農薬の一種で、ガスが飛散しないよう散布後ただちにビニールで被覆することをいう。